

効果のあがる夏休みの過ごし方

－開倫塾を最大限活用しよう－

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

夏休みの過ごし方次第で入試の合否が決まるので、一日も早く受験生になり切り、勉強中心の生活を心掛けて頂きたいと、前回はお願ひしました。では、具体的にどのように夏休みを過ごしたらよいのか、今回はお話しします。

2. 講習会テキストの徹底的な予習と復習に徹しよう！

(1)この夏休みには何をどのように勉強しようなどと考える必要はありません。開倫塾で渡される夏期講習会のテキストを、一日も早くすみからすみまで予習し終え、お盆特訓や8月分授業も含め、毎日のように開倫塾に通いつめて勉強をするだけで十分です。その日にやった内容の復習も十分して下さい。必ず学力が定着します。

(2)講習会テキストの「予習」はいくらやっても O・K、です。誰に遠慮も要りません。どんどん先へ先へと各科とも一冊やり終えてしまして下さい。やるものがなくなったら、先生から次の教材をもらって下さい。受験勉強に遠慮は要りません。一日中好きなだけやればよいのです。

(3)講習会やお盆特訓、8月分授業には全部必ず出席して下さい。ものすごく実力がつきます。特にお盆特訓は他の受験生がお盆中だからといって遊んでいる間に、5日間も一日中同じ科目を8時間以上勉強し続けるものなので、これで勉強のコツがわかったという受験生も昨年は大量に出ました。必ず5日間参加して下さい。

(4)もし家で勉強できなければ、開倫塾の空いている教室で先生の許可をもらった上で、気のすむまでいくらでも勉強して下さい。毎日大勢の受験生が夏休みいっぱい、朝から晩まで開倫塾で勉強し続け、夏休みの期日中に大幅に学力を身につけています。

(5)長い時間かけた TV 視聴、長い時間かけたファミコン遊び、長電話、長マンガ、長風呂、などは勉強時間を少なくするものなので適当に切り上げた方がよいと思われます。どのように勉強してよいかわからず悩むことで、長い時間を使うことは時間の無駄ですから、開倫塾の先生の言う通りやって下さい。いくら悩んでも学力は少しも身につけません。「悩む時間は30分まで」と割り切って、塾の先生にどんどん相談して下さい。

(6)規則正しい生活は何よりです。朝は決まった時間に起き、夜は決まった時間に床に就くようにしましょう。受験勉強は非常に疲れるので、一日に 20 分～ 30 分くらいの仮眠を 1 ～ 2 回必ずとることをおすすめします。朝・昼・夜とキチンと食事をとることも頭の回転をよくすることにつながります。(コーラやジュース・缶コーヒーなどは糖分が多すぎて身体によくありません。飲むならミネラルウォーターか、牛乳・野菜ジュース・カロリーメイト・ポカリスエット等身体によいものにして下さい。)

3. おわりに

鼻がつまっていたり、歯が痛くては全く勉強になりません。耳鼻科や歯科の先生に一日も早く正常な状態にしてもらい、頭がフル回転する状態を一日も早くつくって下さい。

開倫塾では、この夏休みに受験生の皆様の学力向上のためにしてあげることは何でもさせてもらいます。どうか心ゆくまで開倫塾で勉強して下さいますよう。お願いします。

がんばりましょう。